



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社TBグループ  
コード番号 6775 URL <http://www.tb-group.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 村田 三郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 信岡 孝一

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

TEL 03-5684-2321

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	980	△0.2	△18	—	△12	—	△21	—
25年3月期第1四半期	983	△3.5	△62	—	△67	—	△67	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △1百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △49百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△0.31	—
25年3月期第1四半期	△0.95	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,013	1,939	64.3
25年3月期	3,001	1,940	64.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,939百万円 25年3月期 1,940百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	10.5	20	—	10	—	5	—	0.07
通期	4,500	△0.3	50	—	30	—	20	—	0.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	72,010,588 株	25年3月期	72,010,588 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	463,600 株	25年3月期	463,600 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	71,546,988 株	25年3月期1Q	71,547,488 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国においてはシェールガス、3Dプリンター等の技術革新等による景気回復、欧州は2極化による構造的不況、そして中国および新興国は調整および金融不安に伴い成長率が鈍化し始めました。我が国経済は、アベノミクス政策により円安株高傾向となり自動車産業等輸出関連企業の業績は急回復いたしました。内需関連も緩やかな回復傾向となり始めました。

このような情勢下、当社グループは新たな経営スローガン「“工夫(ク) ロスなし(ロ) 実行(ジ)” 汗をかこう!」を掲げ、黒字化を図ってまいりました。

中核事業であるLED&ECO関連に経営資源を集約するため、グループ再編(㈱オービカルと㈱オービカル中部の集約統合)を行い、経営効率を高め収益率の向上、キャッシュ・フローの改善を図ってまいりました。

SAおよび電子レジスター部門は依然として中国カントリーリスク、欧州低迷により海外事業は低迷しております。同業者との共創と協業により打開の道を模索しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高9億80百万円(前年同期比0.2%減)と横這いとなり、営業損失18百万円(前年同期は62百万円の営業損失:前年同期比43百万円利益改善)、経常損失12百万円(前年同期は67百万円の経常損失:前年同期比55百万円利益改善)、四半期純損失は21百万円(前年同期は67百万円の四半期純損失:前年同期比46百万円利益改善)となりました。明暗交錯しておりますが、概して着実に利益改善しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [LED&ECO事業]

LED表示機では、業界初のスマートフォン入力が簡単にでき、さらに省電力表示機の「エコリアプラス」、また、業界トップシェアを継続している屋外型デジタルサイネージ部門は普及型の「BRIDⅢ」、高付加価値商品の「GRAND BRID」の売上が堅調に推移し販売台数は増加しました。

その結果、LED&ECO事業の売上高は6億48百万円(前年同期比28.9%増)、セグメント損失は10百万円(前年同期は35百万円のセグメント損失:前年同期比24百万円利益改善)となりました。

#### [SA機器事業]

電子レジスター事業は、海外部門は中国カントリーリスク、欧州低迷、価格競争激化により厳しい状況が続きました。国内部門は法人向けが低調でした。

その結果、SA機器事業の売上高は3億31百万円(前年同期比30.3%減)と大幅減収となりました。セグメント損失は8百万円(前年同期は29百万円のセグメント損失:前年同期比21百万円利益改善)となりました。

#### [その他]

不動産賃貸収入による売上高は0.2百万円(前年同期比92.6%減)、セグメント利益は0.8百万円(前年同期比69.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より12百万円増加して、30億13百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少46百万円によるものと、受取手形及び売掛金の増加30百万円、供給部品の増加等による商品及び製品の増加18百万円及び、原材料及び貯蔵品の増加14百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より14百万円増加して、10億74百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加49百万円によるものと社債の償還による減少35百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より1百万円減少して、19億39百万円となりました。これは主に四半期純損失による利益剰余金の減少21百万円、為替の変動による為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額の増加20百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました。第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において7期連続の営業損失及び当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても、営業損失18百万円（前年同期は62百万円の営業損失）及び四半期純損失21百万円（前年同期は67百万円の四半期純損失）を計上し継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、「4. 四半期連結財務諸表（4）継続企業の前提に関する注記」に記載のとおり当該状況を解消すべく対応策を実施していきませんが、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,389,489	1,342,774
受取手形及び売掛金	678,939	709,802
商品及び製品	432,398	450,833
原材料及び貯蔵品	5,607	20,247
その他	102,565	99,825
貸倒引当金	△225,324	△231,215
流動資産合計	2,383,676	2,392,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	86,451	84,337
機械装置及び運搬具(純額)	2,013	2,578
工具、器具及び備品(純額)	24,974	28,796
土地	51,274	51,274
有形固定資産合計	164,715	166,987
無形固定資産	12,594	11,400
投資その他の資産	440,164	443,178
固定資産合計	617,474	621,566
資産合計	3,001,150	3,013,834
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,594	291,521
短期借入金	117,424	118,876
1年内償還予定の社債	280,000	245,000
未払法人税等	16,900	16,616
賞与引当金	28,459	20,687
その他	201,414	208,322
流動負債合計	885,792	901,024
固定負債		
長期借入金	73,316	67,508
退職給付引当金	73,088	74,168
その他	28,440	32,008
固定負債合計	174,844	173,685
負債合計	1,060,637	1,074,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,649,464	3,649,464
資本剰余金	1,209,786	1,209,786
利益剰余金	△2,833,475	△2,855,330
自己株式	△13,702	△13,702
株主資本合計	2,012,073	1,990,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,035	17,251
為替換算調整勘定	△87,595	△68,344
その他の包括利益累計額合計	△71,559	△51,093
純資産合計	1,940,513	1,939,125
負債純資産合計	3,001,150	3,013,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	983,049	980,994
売上原価	480,162	480,757
売上総利益	502,886	500,236
販売費及び一般管理費	565,291	519,222
営業損失(△)	△62,405	△18,985
営業外収益		
受取利息	962	653
受取配当金	292	374
貸倒引当金戻入額	347	13,346
保険解約返戻金	2,445	—
その他	2,133	1,354
営業外収益合計	6,180	15,730
営業外費用		
支払利息	910	1,220
社債利息	1,272	1,019
売上割引	1,830	2,569
持分法による投資損失	6,391	1,821
その他	1,283	2,689
営業外費用合計	11,688	9,321
経常損失(△)	△67,913	△12,576
特別利益		
事業構造改善費用戻入額	2,127	769
訴訟損失引当金戻入額	100	—
その他	—	60
特別利益合計	2,228	829
特別損失		
その他	31	0
特別損失合計	31	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,716	△11,747
法人税等	2,157	10,107
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△67,873	△21,854
四半期純損失(△)	△67,873	△21,854

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△67,873	△21,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,945	3,204
為替換算調整勘定	23,312	19,251
持分法適用会社に対する持分相当額	△141	△1,988
その他の包括利益合計	18,225	20,466
四半期包括利益	△49,647	△1,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,647	△1,388

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,716	△11,747
減価償却費	10,619	9,498
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,875	△1,556
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,246	△7,771
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△994	1,080
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△9,000	—
受取利息及び受取配当金	△1,255	△1,028
支払利息	2,182	2,239
為替差損益(△は益)	12,103	11,149
持分法による投資損益(△は益)	6,391	1,821
売上債権の増減額(△は増加)	△47,264	△35,005
たな卸資産の増減額(△は増加)	92,450	△33,444
仕入債務の増減額(△は減少)	31,439	51,388
その他の資産の増減額(△は増加)	9,149	849
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,847	14,878
その他	21	346
小計	74,401	2,697
利息及び配当金の受取額	3,736	1,028
利息の支払額	△2,820	△3,334
法人税等の支払額	△5,180	△11,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,137	△11,585
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△35,000
定期預金の払戻による収入	—	70,000
有形固定資産の取得による支出	△1,306	△8,719
投資有価証券の売却による収入	3,000	—
貸付けによる支出	△15,598	△2,104
貸付金の回収による収入	36,189	10,884
差入保証金の差入による支出	△287	△67
差入保証金の回収による収入	1,464	178
その他	13,393	△2,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,854	32,812
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△4,275	△4,356
社債の償還による支出	△35,000	△35,000
リース債務の返済による支出	△888	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,163	△39,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,853	6,623
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	77,682	△11,714
現金及び現金同等物の期首残高	947,253	979,489
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,024,936	967,774

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において7期連続の営業損失及び当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても、営業損失18百万円（前年同期は62百万円の営業損失）及び四半期純損失21百万円（前年同期は67百万円の四半期純損失）を計上し継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していません。

この主たる原因は、以下のとおりであります。

- ①LED&ECO事業においては、トップシェアを継続しているLED表示機及び屋外型デジタルサイネージの売上が堅調に推移したものの、LEDライトは価格競争激化で業績寄与に至りませんでした。
- ②SA機器事業においては、海外部門は中国カントリーリスク、欧州低迷、また国内部門も法人向けが減収となりました。

当該状況を解消するために、今後は、堅調に回復しているLED&ECO事業の拡充を図り、さらに商品戦略部門とトータルテクノ㈱の協業体制を進化させ「普及率零商材」の企画・開発体制を強化します。

一方、海外電子レジスター事業は抜本的な再構築に取り組み、リスク及び赤字額の大幅削減を図ります。

当期は経営責任のケジメと「身の丈」化を図るため、役員報酬のカット及び役員数の削減を実施いたしました。

しかし、現在はこれらの対応を進めている途上であるため、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映していません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LED& ECO事業	SA機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	503,429	475,915	979,345	3,704	983,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	4,153	4,153
計	503,429	475,915	979,345	7,857	987,202
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△35,273	△29,928	△65,201	2,796	△62,405

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル・住宅等の賃貸及び販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△65,201
「その他」の区分の利益	2,796
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△62,405

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	LED& ECO事業	SA機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	648,849	331,871	980,721	273	980,994
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	3,955	3,955
計	648,849	331,871	980,721	4,228	984,949
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△10,994	△8,850	△19,845	859	△18,985

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル・住宅等の賃貸及び販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△19,845
「その他」の区分の利益	859
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△18,985